

ごあいさつ



300棟記念校舎の贈呈式でテープカットをする小山内代表

皆さま、日ごろ全国各地から寄せられる温かいサポートに心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

私共は、1993年9月の設立以来、「できることから始めよう」をモットーに、活動の輪を広げて参りました。

昨今、日本企業の進出等により、カンボジアの話題を身近に感じる事が多くなっております。20年以上前から教育普及、人材育成に携わってきた者として、この国の発展と自立は嬉しいことですが、都会と田舎の格差が広がりつつあるため、それを埋めるべく、きめ細かい地道な活動が必要とされています。

2013年度は、カンボジア支援を軸としながら、ネパール、東日本大震災の活動にも力を入れ、20周年の各種取り組みを成功させることを目標と致しました。

学校建設は、多くの皆さまのご賛同により、300棟目となる校舎が完成。記念ツアー参加者と贈呈の式典に出席しました。また、国際ボランティア貯金の配分事業により、衛生教育を充実させることができました。ネパールでは3、4棟目となる校舎の贈呈を完了し、2014年に入り更に2棟を建設しております。

教育支援は、音楽や美術教育が対象校で定着するように、日本画家、大学教授、マーチングバンド指導者など各分野の専門家にも協力いただき、活動を充実させることができました。

東日本の復興支援は、ボランティア派遣を継続させながら、1000本を目標とした桜の祈念植樹にも携わり、2年間で748本まで植えることができました。

組織運営面では、認定NPO法人の管轄が都道府県に移行されることに伴い、東京都への申請を行い、2月24日に無事に認可されました。今後も、皆さまからのご寄付は、所得や税額からの控除が可能になりますのでうれしくご報告いたします。

2014年度は、これまでの活動を継続させるべく、支えてくださる会員や支援者の方々の輪を今まで以上に広げること目標としています。

国内外のボランティア派遣者は1500名を超え、国際ボランティア・カレッジは9期目に入ります。私共が目指す地球市民教育は、参加者の将来にも影響を及ぼし、そして次世代にも繋がっていくものと信じております。

私たちは、行動基準の1つに、「皆さまからのご浄財を責任を持って効果的に活用すること」を掲げています。皆さまの思いに応え、信頼をいただきながら、学びたい子どもたちの未来を支える活動を続けて参ります。

本来、皆さまにお会いしてお礼とご報告を申し上げるべきところですが、毎年この場でのあいさつに代えさせていただいております。

2014年度も、様々な機会に皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

小山内美江子

JHPの活動・歩み

設立経緯

- 1991年、JHPの前身であるJIRACとして湾岸戦争後に取り残されたクルド難民の救援を学生達とイランで実施した。
- 同年12月、小山内美江子と二谷英明らがカンボジア難民救援のため、タイ国境キャンプを視察し準備に入る。
- 1992～93年、タイ国境からのカンボジア帰還難民救援活動の中から、子どもたちのための学校建設の必要性を把握。
- 1993年9月15日にJIRACの中から「カンボジアのこどもに学校をつくる会」を設立。
- 1997年4月より会費会員制に移行して、「JHP・学校をつくる会」に改称。
- 2000年10月に東京都より特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、11月に登記完了。
- 2004年1月1日に日本で19番目に国税庁より認定NPO法人の認定を受けた。
- 2014年2月24日に東京都より認定NPO法人の認定を受けた。

- | | |
|------|--|
| 1993 | カンボジア活動隊派遣開始(以後年2～3回を継続)。(写真A) |
| 1994 | JEN設立に代表小山内が参画。駐在員1名をユーゴスラビアへ派遣。 |
| 1995 | 阪神淡路大震災発生。当日から救援活動開始。(写真B)
カンボジアにブノンペン事務所設置。旧ユーゴスラビア隊を定期的に派遣。 |
| 1996 | 音楽教育プロジェクト開始。カンボジアに音楽教師1名派遣。
アフリカに毛布を送る運動の構成団体として学生の現地派遣開始。 |
| 1997 | 地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)の構成団体となる。 |
| 1998 | カンボジア教育省とNGO活動の合意書を結ぶ。(写真C) |
| 1999 | 美術教育プロジェクト開始。日本人教師1名派遣。初の絵画展を開催。 |
| 2000 | ブノンペン市認定の音楽教師7名を誕生させる。 |
| 2001 | JENの構成団体としてインド地震救援隊4名派遣、テントなどを支援。
カンボジア王国と覚書を交わし正式なNGOに認められる。 |
| 2002 | ユニセフと合同でアフガニスタン支援実施。駐在員1名派遣。
JHP初の孤児院完成。CCH(幸せの子どもの家)支援開始。(写真D) |
| 2003 | JHP初のラオス校舎完成、ボスニア活動隊4名派遣、100棟目の校舎完成。 |
| 2004 | 新潟水害、中越地震の支援活動実施。 |
| 2005 | カンボジアにて第1回音楽コンテスト実施(以後年1回実施)。
三宅島帰島ボランティア支援活動に参加。 |
| 2006 | JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金スタート。
小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ開講。
代表小山内がカンボジア王国よりモニサラボン大十字勲章受賞。 |
| 2007 | 設立15周年記念祝賀会を開催。マーチングバンド、CCHの子どもが来日出演。 |
| 2008 | 1人1万円の呼びかけで631人が賛同し、200棟記念校舎が完成。
代表小山内が第20回毎日国際交流賞を受賞。 |
| 2009 | 国際ボランティア・カレッジが第3回浄土宗共生(ともいき)・地域文化大賞を受賞。
新たな支援対象国の候補としてネパール調査を実施。 |
| 2010 | アカウンタビリティ・セルフチェック2008を実施(詳細は裏表紙を参照)。
学校建設の実績が250棟超える。 |
| 2011 | 東日本大震災発生(3月11日)。仙台市若林区、南三陸町にて支援活動を行う。
平成23年度外務大臣表彰を団体として受賞。(写真E)
JHP初となるネパールでの学校建設を開始する。 |
| 2012 | JHP創設者の一人で元副代表の二谷英明氏が1月7日に逝去する。
公益財団法人かめのり財団より、「第5回かめのり賞」の表彰を受ける。 |
| 2013 | JHP行動基準が制定される。(詳細は裏表紙を参照)
JHP初となるネパールでの校舎が2棟完成し、贈呈式を行う。
300棟記念校舎が完成。(写真F:詳細は6ページ参照) |
| 2014 | 設立20周年を祝う、記念の集いを開催。(詳細は21ページ参照) |



(写真A)



(写真B)



(写真C)



(写真D)



(写真E)



(写真F)